

令和2(2020)年5月8日

在学生(学部生・専攻科生・大学院生)の皆さん
保護者の皆様

(学)大谷学園 理事長 左藤 一義
大阪大谷大学 学長 浅尾 広良

新型コロナウイルス感染症対策に伴う緊急支援の実施について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大をうけて、皆様におかれてはさまざまな困難や不安のなかでお過ごしのことと拝察し、心よりお見舞い申し上げます。また、この困難な状況のなか、社会を支えてくださっている方々に対して、心から敬意を表します。

本学は、緊急事態宣言の発出を受けて、在学生の皆さんの命と健康を最優先に考え、4月8日より対面授業の取り止めと登学禁止の措置を行い、その後今年度前期の授業については原則として遠隔で行うことを決定し、4月20日よりWebによる遠隔授業を開始しております。対面授業から遠隔授業に切り換えたことで、授業形態や方法は変わりましたが、半期15回の授業を十全に確保し、tani-WA(クラウド型教育支援サービス)を通してこれまで以上に在学生の皆さんと教員がやり取りをして、学びのフォローを行い、教育効果を最大限発揮できるように万全を期しております。

遠隔授業にしたことで、在学生の皆さんには、ネット環境の整備やプリントの印刷などのご負担をお掛けすることとなりました。ついては、緊急の「教育・研究支援金」として、在学生の皆さんに一律3万円を支給することとします。届出されている納付金用の口座に5月末を目途に支給を開始する予定です。

今後もこれまで経験したことのない事態が続きます。予断を許しませんが、遠隔授業を続ける一方、宣言解除後には、感染拡大防止に努めながら、実験・実習系科目や実技系科目など一部の科目について対面授業を再開します。情報教室や図書館、薬学実験棟などの施設についても、状況を見極めながら順次開放を進めていく予定です。本学の教育・研究の質を保つため、出来る限りの努力をしてみたいと思いますので、どうかご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

在学生の皆さん、今の社会状況の中での学修には困難が伴います。しかしながら、このような困難な中でじっくりと自分を見つめ、勉学に打ち込むことは、必ずや皆さんの知性や感性を高め、今後の社会に貢献する力になると確信します。どうか、希望をもって学業を修めてください。本学の教職員は、皆さんのそうした意志を精一杯支えていく所存です。一緒に、この難局を乗り越えていきたいと思っております。